

災害時における障がい者への対応は

マニュアルを作成し、障害特性に応じた対応を行う
松本 まき (民進党・市民フォーラム)



答

災害時に後回しにされてしまいがちなのは、障がい者や高齢者です。障がい者は、障がいの態様によっては、支援が必要か否かわかりにくいことがあります。だからこそ障がい者の支援体制を整備することが急務だと考えます。熊本地震では、福祉避難所の開設が2割程度で十分に機能していませんといふういう報道がありました。マニュアルはある状況を想定して作り、意識を共有する必要があると考えますが、見解を伺います。

本市では、障害者の方を含めた避難行動要支援者名簿を作成し、情報を把握するとともに、避難所に定められた避難行動要支援者避難支援マニュアルを作成しています。避難所にはさまざまな障害のある方の避難が求められます。障害者が避難所生活で苦痛などを強いられることのないよう、平時より職員を始め関係者や関係機関等への情報提供を行つていただきたい。

生活困窮者自立支援 本庁舎に窓口を

幅広い案内の中で適切な支援につなげる
大沢 豊 (緑たちかわ)



答

生活困窮者自立支援事業の窓口ほど離れていました。生活保護の相談に行つたが受給条件になく、社会福祉協議会を案内された人が多くいたと聞きました。同じ本庁舎で相談を受ける方が問題解決は早いのではないか。困窮者への対策をし、困窮世帯の子どもたちがまた困窮へと陥る貧困の連鎖を生まないために、子どもたちを支援できる制度にしていただきたい。

社会福祉協議会のくらしサポートの窓口では、制度を幅広く案内をした中で、最もふさわしい支援が充てられるのが望ましいと考えます。生活保護と生活困窮者自立支援事業のすみ分けを生活福祉課と社会福祉協議会で行い、より適切な支援についていきたいと考えます。また生活困窮者自立支援事業における任意事業の中でも、子どもの学習支援があることは認識しております。市内の関連部署で情報共有を始めています。

骨髄移植ドナーに対する意見書 支援の充実に関する意見

骨髄移植等の一層の推進のためドナーに対する支援の充実

LGBTをはじめとする性的少数者が、学校や職場などの生活の各場面で差別の取扱いを受けないようにする措置を定めるとともに、LGBT等の性少数者が存在することも踏まえた社会制度作りが進められるよう、新たな法整備を強く要望する。

平成28年第3回市議会定例会会議日程表(予定)

月 日	時 間	会 議 名	摘 要
9月5日(月)		本会議	会期の決定、一般質問等
6日(火)		本会議	一般質問
7日(水)		本会議	一般質問
8日(木)		本会議	一般質問
9日(金)		本会議	請願・陳情の付託、議案審議等
12日(月)		決算特別委員会	
13日(火)		決算特別委員会	
14日(水)		決算特別委員会	
15日(木)		決算特別委員会	
20日(火)		総務委員会	
21日(水)		厚生産業委員会	
23日(金)		環境建設委員会	
26日(月)		文教委員会	
28日(水)		議会運営委員会	
29日(木)		本会議	議案審議、委員会審査意見報告等

*本会議・委員会は傍聴できますので、お気軽にご聴取ください。傍聴受付けは会議開始の15分前より行います。

ごみ再資源化実証機導入について

実証導入に向けた取り組みを進める
佐藤 寿宏 (たちかわ自民党・安進会)



答

現在、ごみの焼却灰は高額の負担金を払い、日の出町の二ツ塚最終処分場へ搬入しています。ごみ再資源化装置は、ごみを高効率的に燃料に変換する最良の装置であり、焼却灰の減量にも最も有効で経済的な手段と考えます。数年前には副市長などが視察に行っていますが、その後の経過はどうなっているのでしょうか。財政負担を減らすためにも、実証機導入が進まない問題点を早急に解決し、導入していただきたいと考えます。

再資源化施設実証導入に向け、平成22年度より導入検証委員会の開催や埼玉県入間市でのメーカーのデモ機視察、沖縄県うるま市にある民間施設への視察を含め、設計の妥当性、安定性、経済性などを勘案し、技術的、理論的観点から検証を行つてきました。さまざまな性能アップのための取り組みもあつたということです。引き続き、メーカーの取り組みを注視しつつ、実証導入に向けた取り組みを進めています。

若者の総合相談窓口の設置を

事業のさらなる連携とPRに努める
稲橋 ゆみ子 (立川・生活者ネットワーク)



答

若者の相談には、ひきこもり、二一トなどを含め、かなり専門性の高い相談事もあります。子ども・若者自立支援ネットワーク事業では、行政等が参加し連携しています。参加団体それぞれに専門的なスキルがあります。事業のさらなる連携とPRに努めて、見解を伺います。

陳情の採択を受けて提出された意見書など、次の8件の意見書を可決し、関係機関に送付しました。

今般の舛添前東京都知事の高額な海外出張費用や公用車の私的利用などの疑惑に対する明確な説明がされないことは看過できない。よって、立川市議会は東京都に対し、舛添前都知事の税金の使い方にについて、真相を明らかにするよう強く要望する。

国、地方公共団体、国民、事業者が一体となって食品ロス削減に向けての取り組みを進めため、次の事項について早急に取り組むことを強く求める。

1 食品ロス削減に向けて、削減目標や基本計画を策定するとともに、食品ロス削減推進本部の設置や担当大臣を明確化することなど

意見書



(要旨)

食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書

18歳選挙権を契機として、国は教育現場が安心して主体的に仕組みづくりを行うべきである。また、投票機会の拡大に向けて、高校・大学等や大規模小売店舗などで期日前投票所の増設や投票時間の弾力化等を検討することなど

主権者教育の確立と投票機会の拡充を求める意見書

平成28年第4回市議会定例会会議日程(予定)

平成28年11月30日(水)から12月19日(月)まで

平成29年第1回市議会定例会会議日程(予定)

平成29年2月23日(木)から3月22日(水)まで

詳しくは
市議会
ホームページをご覧ください。

クリック!

*日程は現時点のもので、今後変更する場合があります。

お問い合わせ 議会事務局 ☎528-4343

立川市議会 検索